

全校研究主題

「児童生徒一人一人が主体的に取り組む授業づくり・生活づくりを目指して」
～P D C Aサイクルによる授業改善を通して～

I 主題設定の理由

学習指導要領が改訂され、新学習指導要領が平成32年度から年次進行で小学部、中学部、高等部で全面实施される。新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をととして、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、生きる力を育むことを目指す」とされ、「主体的・対話的・深い学びの実現」が重要視されている。本校の学校教育目標は、「一人一人が光り輝き、心豊かにたくましく生きる人間を育てる」であり、「自立と社会参加にむけて、主体的に活動し心豊かにたくましく生きる人を育てる」ことを目指している。

一昨年度までの校内研究においては、小中高舎で児童生徒の充実した生活を目指し、生活を支える基本的な生活習慣と余暇活動について、一貫性のある目標や支援方法を検討してきた。

以上、3つの観点から各学部や寄宿舎で、児童生徒が主体的に取り組む授業づくり・生活づくりに系統性・発展性をもって取り組むことで、児童生徒が小学部から高等部まで主体的に活動し達成感や充実感を感じる経験を積み重ねることが大切である。それが、ひいては将来の自立、豊かな充実した生活につながると考え、本テーマを設定した。

II 研究の目的

各学部、寄宿舎で児童生徒の主体的に取り組む姿の実現に向けて、P D C Aサイクルによる授業改善・支援の充実を図り、児童生徒一人一人が主体的に活動に取り組む授業づくり・生活づくりを目指す。

III 研究機関

3年（H30～R2）

IV 研究の内容

- ① 新学習指導要領の改訂のポイントについて学ぶ
- ② 学部毎に「主体的に取り組む姿」をおさえ、それを促す指導内容・指導計画を検討・立案する
- ③ 授業実践をととして「主体的に取り組む姿」を目指した授業改善から支援の充実を図る

V 研究の方法

〈1年次〉

- ① 学習会により新学習指導要領の理解を深める
- ② 学部テーマの設定（各学部における主体性の捉えの確立）
- ③ 主体性の捉えから、それを促すための指導内容・指導計画の検討

〈2年次〉

- ① 新学習指導要領に沿ったP D C Aサイクルによる授業改善・支援の充実
・指導計画の作成→授業実践（授業研究会）→評価→改善

〈3年次〉

- ① 新学習指導要領に沿ったP D C Aサイクルによる授業改善・支援の充実
- ② 開かれた授業研究会及び全校研究会
- ③ 研究のまとめ（HPによる研究公開）

VI 研究計画

	平成30年度（1年次）	平成31年度（2年次）	令和2年度（3年次）
4月	第1回全校研究会		
5月		学部研究会	学部研究会
6月		・PDC Aサイクルの検討	・PDC Aサイクルの検討
7月	第1回学習指導要領校内学習会	（1月まで継続する）	（1月まで継続する）
8月			
9月	第2回学習指導要領校内学習会	・授業研究会	・授業研究会
10月	学部研究会（主体性の捉え、 テーマ、実践領域の決定）		
11月			
12月			
1月			
1月		2年次のまとめ	3年次のまとめ・学部研究の まとめ
2月	第2回全校研究会（1年次のまとめ）	第2回全校研究会（2年次のまとめ）	第2回全校研究会（3年研究のまとめ、次年度の研究提案）

VII 各学部、寄宿舎の実践

1 各学部の研究テーマ

	児童生徒の主体的な姿を表す キーワード	研究テーマ	実践の場
小学部	やってみよう・おもしろい・ できた	「やってみよう」「おもしろい」「できた」を目指して ～「合わせた指導」について教科の観点から～	遊びの指導 生活単元学習
中学部	自分から・自分で	十人十色の主体性を引き出す授業づくり ～1単元4回以上の授業実践におけるPDC Aサイクルの 充実をとおして～	体育 音楽
高等部	選ぶ・やってみる	生徒が自ら選び、自ら取り組むことができる授業づくり	選択教科
寄宿舎	やる気・主体性を見つける PDC A→気づいて動く	PDC Aサイクルを活用した支援方法の改善	